

研究課題名「間葉系幹細胞関連遺伝子のヒト悪性腫瘍における診断マーカーとしての病理組織学的検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

1996年7月1日から2021年12月31日までの間に当院で低分化型の癌や骨軟部肉腫の診断のために採取された、もしくは採取される方

2. 研究目的・方法・研究期間

悪性腫瘍は現在でも日本人の死因の第1位であり、早期段階での確実な診断に基づく適切な治療が必要とされています。

これまで私たちはマウスおよびヒト細胞株を用いた研究で、「間葉系幹細胞(かんようけいかんさいぼう)」に関連するタンパク質が悪性腫瘍に発現し、その悪性度に関与することを明らかとしてきました。しかし、ヒトの悪性腫瘍組織(特に低分化型の癌や骨軟部肉腫)における「間葉系幹細胞」に関連するタンパク質の発現に関する評価はほとんどなされていないのが現状です。

本研究では各種臓器における低分化型の癌や骨軟部に生じる肉腫における「間葉系幹細胞」に関連する遺伝子の発現と臨床的、あるいは病理学的な特徴、治療成績あるいは予後との関連を検討することで、悪性腫瘍の診断および治療の新しい手法が得られる可能性があると考えています。

当院で1996年7月1日から2021年12月31日までの間に低分化型の癌や骨軟部肉腫の診断のために採取された病理検体の一部を用いて、臨床所見・組織学的所見・画像所見・腫瘍の進行度・治療後無再発生存期間・全生存期間と「間葉系幹細胞」に関連する遺伝子の発現の相関関係を検討します。

この研究の研究期間は、実施承認日から2022年12月31日までです。

本研究で用いる試料・情報を利用する者は、名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍病理学分野および附属病院病理部に所属し、かつ本研究計画に参加・承認を受けた、高橋雅英教授、中村栄男教授をはじめとする計5名の教員です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、再発の有無 等

試料：血液、手術材料、剖検材料、生検組織。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科・腫瘍病理学・高橋 雅英（研究責任者）

TEL: 052-744-2093 / FAX: 052-744-2098